

平成12年7月7日
原子力安全対策課
(12-37)
<12時00分記者発表>

大飯発電所2号機の実力低下について

このことについて、関西電力株式会社から下記のとおり連絡を受けた。

記

大飯発電所2号機（加圧水型軽水炉；定格出力117.5万kW）は、定格出力で運転中であるが、本日9時50分頃、運転員の巡回点検において、2次系にある3B湿分分離加熱器第2段ヒータドレンタンクのマンホール下部から蒸気が漏れているのが確認された。

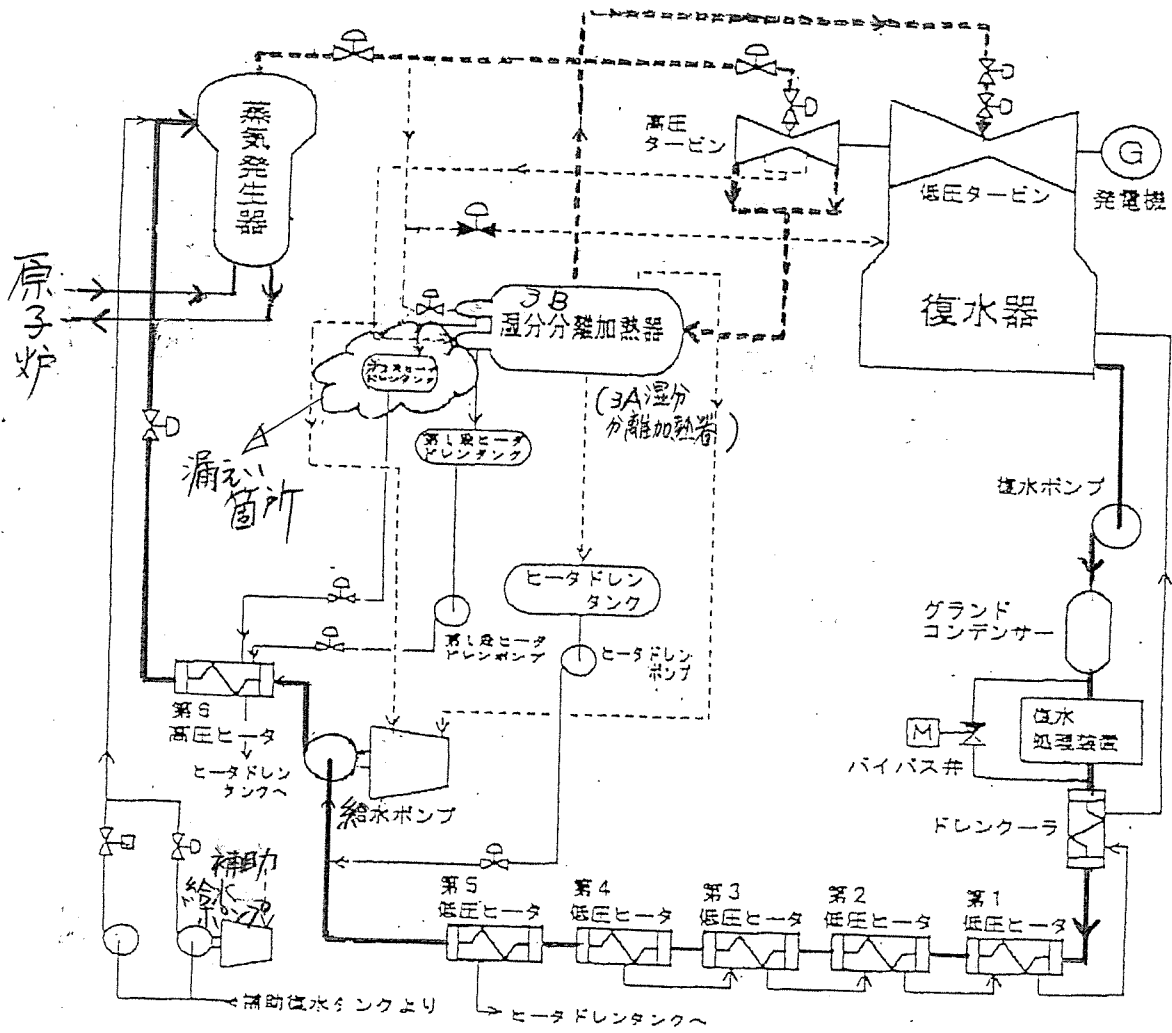
このため、約65%出力まで出力低下させた後、当該ドレンタンク廻りを隔離して点検・補修を実施することとし、同日11時15分より出力低下を開始した。（同日13時頃に約65%出力到達予定）

なお、この事象による環境への放射能の影響はない。

湿分分離加熱器：高圧タービンで仕事をした蒸気を、引き続き低圧タービンで使用する前に、湿分を除去し蒸気の温度を高めるために再加熱する熱交換器

ヒータドレンタンク：高圧タービンで使用された蒸気を低圧タービンで再使用するために加熱する別系統の蒸気が、加熱後水になることから、これを回収して一時的に貯蔵するタンク

2 次系主管系統概要図



ニ湿分分離加熱器 …… 高圧タービンで仕事とした蒸気も、低圧タービンで使用する前に、湿分を除去し、再加熱する熱交換器。
大飯 2 号機では 2 (系統) × 3 (台) = 6 台ある。

第2段ヒータードレンタンク概要図

